

農村計画学会誌論文特集号 原稿作成要領（種別 A）

研究委員会

農村計画学会誌論文特集号に応募する論文は、この原稿作成要領に従って作成すること。下記の要領から著しく逸脱した論文の受理は認められない。

I 基本設定

①用紙：A4用紙を用いること。

②紙の置き方：縦置き

③文字方向：横書き

④1行の文字数：25文字×2段組

⑤1ページの行数：46行

⑥マージン設定：以下のとおりとする。

上端：30mm，下端：20mm，左端：20mm，右端：20mm

注）マージンを上記の通り設定しても、文字が溢れて下端の20mmが確保できない場合がある。そのようなことがないように、注意すること。

⑦印刷フォント：特に指定のない限り、本文はもちろん図表においてもMS明朝体を用いること。また英文タイトルや英文サマリー、キーワード等はTimes New Romanを用いること。

II 構成

1) 論文の構成

第1行：行空け

第2行：「論文名（16ポイント・太字）」を行中央に配置する。1行に収まらない場合は、適切な箇所で区切って2行にする。2行目も中央に配置すること。論文名は、できるだけ簡潔にすること。なお、副題がある場合は行を改めて10.5ポイントで記載する。

第3行：「英文タイトル（9ポイント・太字）」を行中央に配置する。英文タイトルの副題の文字の大きさは8ポイントとする。また、各単語の頭は大文字にすること。ただし前置詞などは小文字にする。

第4行：行空けまたはタイトル記載

第5行：行空けまたはタイトル記載

第6行：行空けまたはタイトル記載

（論文名は、英文を含めて第7行目までに収まるようにすること。論文名が第7行目に及んだ場合は、氏名を第8行目に記載することとし、それ以降1行ずつずれる。）

第7（8）行：「氏名（9ポイント）＊」（連名者を含む）を行中央に配置すること。

第8（9）行：「英文氏名（9ポイント）＊」（連名者を含む）を行中央に配置すること。氏名、所属には、半角アスタリスク（＊，**，***）をつけて対応関係を明らかにすること。アスタリスクは、氏名の場合は後に、所属の場合は前につけること。

第9（10）行：「所属（9ポイント）」（連名者を含む）を括弧で括り、行中央に配置すること。

第 10 (11) 行：「英文所属 (8 ポイント)」 (連名者を含む) を括弧で括り，行中央に配置すること。

第 11 (12) 行：行空け (連名者が多い場合には，氏名・所属の記載に使用してもよい)

第 12 (13) 行：行空け

第 13 (14) 行：この行から本文が始まる。なお本文は，2 段組 (25 文字) とする。最初で大見出し (章タイトル) から始まる場合は，13 (14) 行目に 10 ポイントで，「全角 1 文字空け＋全角ローマ数字で章番号＋全角 1 文字空け＋見出し名」という形式で記載する。ただし，見出しが 1 行に収まらない場合は 2 行目にまたがってよい。その場合，2 行目の記載は全角 2 文字を空けた後に同じポイントで続けること。なお，見出しは簡潔なものが望ましい。

第 14 (15) 行：行空け

第 15 (16) 行：本文を 9 ポイントで記載すること。

以降，新たな大見出し (Ⅱ，Ⅲ～) が登場する度に，第 12 (13) ～15 (16) 行に関わる作業を繰り返すこと。また，中見出し (節タイトル) は 1，2，……とし，「全角 1 文字空け＋節番号＋全角 1 文字空け＋見出し名」という形式で 9 ポイントの MS ゴシック体で記載し，前行が大見出し以外の場合には空行を入れる。さらに節より下の小見出しはいずれも 9 ポイントで，項にはいずれも半角文字の (1)，(2)，……，さらに下の見出しにはいずれも半角文字の 1)，2)，……あるいは①，②，……を用いる。

2) 句読点

句点には「。」，読点には「，」をそれぞれ使用すること。

3) 図表

①図表 (写真を含む) には，印刷がモノクロ写真製版によることを前提に，鮮明なものをを用いること。

また図の濃淡やグラデーションの差は，明確に判別できるよう大きくすること。

②図表ナンバーはそれぞれ「表 1」，「図 1」とすること (図表番号は全角数字を使用)。また，図表タイトルは 9 ポイントとすること。そしてナンバー及びタイトルは，表の場合は上，図の場合は下に配置すること。図表に対する注釈は，8 ポイントで挿入すること。

③表の一番上の罫線は二重線とし，左右の表側部分は罫線を引かないこと。図表中の文字は 7 ポイント以上とすること。

4) 数式

数式は専用のエディタ等を用いて作成する。式は全角 1～2 文字下げて記入し，同じ行の右端に (式 1) などと通し番号をつけること。なお簡易な数式を本文中に記載する場合は，この限りではない。

5) 謝辞

謝辞が必要な場合には，その内容は本文と注釈の間に 8 ポイントで記載する。

6) 注釈

注釈が必要な箇所には，注 1)，注 2)，……を本文の該当箇所右肩に上付で明示すること (注番号は半角

数字を使用)。ただしこれが行の先頭に配置されることは避ける。そうなった場合は該当箇所の文章付近を適当に編集すること。また注釈の内容は、本文と引用文献との間に 8 ポイントでまとめる。なお、注釈の内容が 2 行以上にわたる場合、2 行目以降は先頭に全角 2 文字を空けてから文章を続けること。

7) 引用文献

文献（ウェブサイトを含む）を本文中で引用する際は、1), 2), …, n) の記号で本文の該当箇所右肩に上付で明示すること（文献番号は半角数字を使用）。ただしこれが行の先頭に配置されることは避ける。そうなった場合は該当箇所の文章付近を適当に編集すること。また引用した文献（およびウェブサイト）は、本文の末尾に 8 ポイントで引用順に一括掲載する。文献（およびウェブサイト）の記載形式は、以下の通りとする。なお、文献（およびウェブサイト）の記載が 2 行以上にわたる場合、2 行目以降は先頭に全角 1 文字を空けてから文章を続けること。

1) 論文：著者（出版年(西暦)）：論文名，学会誌等名，巻(号)，該当ページ(○-○)。

〔論文の例〕

1) 農村太郎・計画花子（2002）：農村計画に関する新しい理論の展開—既存の計画手法を振り返って，農村計画学会誌，21(6)，150-159.

2) 著書：著者（出版年(西暦)）：『書名』．出版社名，出版社の所在地(例：東京)。

〔著書の例〕

2) 農村太郎（2000）：『農村計画学』．〇〇出版，東京.

3) 編著書：著者（出版年(西暦)）：題名（編者名，『書名』）．出版社名，出版社の所在地(例：東京)，該当ページ(pp. ○-○)。

〔編著書の例〕

3) 計画花子（2001）：都市近郊における計画理念（農村太郎編，『都市農村計画学』）．××書店，東京，pp. 115-130.

4) 英語論文：著者（出版年(西暦)）：論文名．学会誌等名(斜字体)，巻(号)，該当ページ(○-○)

〔英語論文の例〕

4) Noson, T. and Keikaku, H. (2000): A new strategy of Japanese rural planning -towards revitalizing rural economy. *Journal of Rural Planning*, 5(3), 121-130.

5) 英編著：著者（出版年(西暦)）：題名：In 編者名(eds), 書名(斜字体)，出版社名，所在地(例：Tokyo)，該当ページ(pp. ○-○)

〔英語編著の例〕

5) Keikaku, H. (2002): Land-use changes in rural area: In Noson, T and Keikaku, H. (eds.), *Sustainable Rural Development*, Norin Press, Tokyo, pp. 61-85.

6) ウェブサイト：著者：該当ページの題名，ウェブサイト名，<URL>，更新日時，参照日。

[ウェブサイトの例]

6) 農村太郎：都市近郊における計画理念，農村計画学会，〈<http://wwwsoc.nii.ac.jp/arp/index.htm>〉，
2005年2月20日，2005年4月11日。

8) 英文サマリー

引用文献の後に空白行を設けず1段組で配置する。9ポイントのTimes New Romanで，分量は100語程度とする。

9) キーワード等

英文サマリーの次の行に1段組で配置する。9ポイントで，日本語(MS明朝体)と英語(Times New Roman)の両方で記載する。また，キーワードの下に1行の空白行を設けた後，右揃えで“(2018年*月*日 原稿受理)”と“(2018年*月*日 採用決定)”をそれぞれ別の行として記入する。

Ⅲ 留意点

1) 著者情報および謝辞の取り扱い

応募時と審査中の原稿については次の方法によって著者に関する情報を伏せるとともに，本文においても著者名を推定できるような引用や表記等は避けること。

応募論文のPDFファイルを作成する際には，著者名と所属先の著者情報および謝辞を記載している行を「行空け」とし，予めこれらの情報を削除したファイルを変換すること。(著者情報等の白文字化や図形等の貼り付けによってこれらを隠しても，高度なソフトウェアにより見ることができるともがあるので，必ず「行空け」にすること。さらに，PDFファイルの「プロパティ」から「ファイル作成者情報」も忘れずに消去しておくこと。)

2) 行番号

応募時と審査中の原稿については必ず行番号を付けること(投稿原稿様式および論文作成見本には行番号が付いている)。

3) 図表等の引用

図表等の引用の際には，引用元の著作権に配慮する。特に地図を使用する際には十分注意すること。

4) その他

応募論文の原稿作成にあたっては，「論文作成見本」も参照のこと。

5) 適用

この原稿作成要領は，最終更新日(2017年3月31日，第18期研究委員会)より適用する。

以 上